

国際センターシンポジウム講演会 「日本の建設企業の海外進出を考える」第2回開催報告

教育グループでは、我が国の建設企業の海外展開へ向けた人材のグローバル化に対する支援活動の一環として、国際シンポジウム講演会を3回シリーズとして開催しております。今回はその第2回目として「海外で勝つために～市場の変化に応じた建設ビジネスモデルとは～」と題した講演会を開催いたしました。世界規模で活躍されている海外企業の方をお招きし、それぞれの企業の活動また海外展開についての考え方をご講演頂きました。当日は建設産業に携わる産官学より計66名の参加がありました。



講演会の様子（Prinja氏）

講演会の第1部ではAMEC社技術担当役員のNawal K. Prinja氏にご講演頂きました。イギリスを本拠地として幅広く世界で事業を展開するAMEC社における海外展開戦略や海外展開する上で重要となる国際感覚を持つ人材の育成について事例を交えてご紹介いただきました。その後の質疑を含め活発な意見交換がなされました。



講演会の様子（榮枝氏）

また第2部では、AECOM Japanの榮枝秀樹氏にご講演頂きました。AECOM社における国際展開戦略に関する考え方や実際のプロジェクト事例をご紹介いただきました。またAECOM社における人材育成プログラムを紹介頂き、日本企業および海外企業の両方におけるご本人の実務経験を踏まえた上で、日本企業が海外展開していくために必要な事項について氏のお考えを展開されました。日本企業が今後海外展開を図っていく上で克服すべき課題について、企業文化や日本と海外の慣習の違いなどの具体例を交えた講演内容に海外進出を目指す企業に属する聴講者の皆様は熱心に聞き入っていました。

第3回は4月22日（火）で、マッコーリーキャピタル証券会社より大橋 純氏、レンドリース・ジャパン社より岡 正信氏をお招きして開催しました。（国際センター通信第20号にて報告予定）

教育グループではこのような取り組みが、日本の企業で海外に進出を考えている方々の一助になると考えております。

【記 国際センター教育グループ】